

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	臨床工学技士科(昼間部)		科 目 区 分	その他	授業の方法	演習
科 目 名	キャリア実践Ⅲ(開発)		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	後期	教室名	
担 当 教 員	前田 直人	実務経験とその関連資格	臨床工学技士として市立堺病院(現 堺市立総合医療センター)で15年勤務。その後、医療系商社にて海外事業に従事。Green Hospital Myanmar Ltd. 取締役(2014年～2020年)			
《授業科目における学習内容》						
次年度初頭に控えている臨床実習、本格化する就職活動に向けて準備するために、キャリア形成の最初の関門となる就職に関する理解度、書類作成などの必要な手続きに関する知識、社会人としての自身のプロデュース能力を高める。						
《成績評価の方法と基準》						
レポート課題、面接試験70%、平常点10%、出席点20%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
配布資料、臨床実習に要する書類、就職活動に要する書類						
《授業外における学習方法》						
配布プリントは必ず一読し、疑問があるところは教科書を確認すること。						
《履修に当たっての留意点》						
実際の臨床現場で働く臨床工学技士について学ぶ臨床実習や、卒業後のキャリア形成に必須となる就職に必要な手続きやスキルを磨く貴重な機会です。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	臨床工学技士にとっての就職について知る。		配布資料 PPTプレゼンテーション	シラバスを読み、講義内容を理解しておく。
		各コマにおける授業予定	定臨床工学技士にとっての就職について説明を行う。			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	標臨床工学技士にとっての就職について理解を深める。		配布資料 PPTプレゼンテーション	前回学習した内容を復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	臨床工学技士にとっての就職についてグループワークにて議論する。			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	就職先に応じた就職活動について知る。		配布資料 PPTプレゼンテーション	前回学習した内容を復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	就職先に応じた就職活動について説明する。			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	就職先に応じた就職活動について理解を深める。		配布資料 PPTプレゼンテーション	前回学習した内容を復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	就職先に応じた就職活動についてグループワークにて議論する。			
第5回	講義実習形式	授業を通じての到達目標	履歴書の書き方について基本的な書式を理解する。		配布資料 PPTプレゼンテーション	前回学習した内容を復習しておくこと。
		各コマにおける授業予定	履歴書の書き方についての基本を説明し、書類の作成を行う。			

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標 自らの志望動機・自己紹介を簡潔で魅力的に伝える技術を得る。	配布資料 PPTプレゼンテーション	前回学習した内容を復習しておくこと。
	各コマにおける授業予定	簡潔で魅力的な志望動機・自己紹介の書き方を説明し、書類の作成を行う。		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標 面接試験で自らをアピールする技能を得る。	配布資料	前回学習した内容を復習しておくこと。
	各コマにおける授業予定	面接試験の意義と重要性について説明し、模擬面接を行う。		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標 面接試験で自らをアピールする技能を得る。	配布資料	前回学習した内容を復習しておくこと。
	各コマにおける授業予定	面接試験の意義と重要性について説明し、模擬面接を行う。		